

施策番号	1701		
施策名	市民の健康づくり活動の推進		
概要	すべての市民が、生涯を通じて運動、栄養、休養、禁煙、口腔ケアといった心身の健康づくりに取り組むため、行政と保健医療関係機関、地域、企業が連携して環境整備を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関する主な分野別計画等	京都市民健康づくりプラン（第2次）、京都市たばこ対策行動指針（第2次）、京都市口腔保健推進行動計画、新「京（みやこ）・食育推進プラン」、きょういのちほっとプラン—京都市自殺総合対策推進計画—		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)	-	-	46.8	52.8	48.8	108.2%	a	1.00	
2 自殺による死亡者数(人)	a	a	252	248	264	106.1%	a	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 正しい情報を基に、健康づくりに取り組むひとが増えていく。	48 9.7%	189 38.2%	185 37.4%	48 9.7%	25 5.1%	495	b	
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							b	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 健康づくりの推進に当たっては、市民一人一人の意識を高める必要があるため、市民生活実感調査を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合(%)については、正しい情報を基にした生活習慣の改善による健康づくりを進めた結果、a評価と高い評価となった。 ●自殺による死亡者数については、全国的に減少している中、本市においても、一定の減少傾向がみられており、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】市民一人一人の健康づくりに対する意識の高まりから、昨年度に引き続きb評価と安定した評価になったものと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	保健事業(国保会計)	1,145,630	1,240,315	普通	保健福祉局
2	後期高齢者健康診査	293,857	316,672	良い	保健福祉局
3	はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業	11,545	13,359	普通	保健福祉局
4	保健所資格職等調査研究推進事業	35,312	35,740	良い	保健福祉局
5	京都市民健康づくりプラン普及及び推進事業	3,993	4,355	良い	保健福祉局
6	難病患者支援事業	81,384	85,251	悪い	保健福祉局
7	骨髄提供希望者登録推進事業	3,448	3,500	良い	保健福祉局
8	健康づくりサポート事業	126,294	133,861	良い	保健福祉局
9	生活保護受給者等健康診査	12,642	14,571	かなり良い	保健福祉局
10	がん検診	610,952	564,434	普通	保健福祉局
11	がん管理評価事業補助金	4,694	4,694	良い	保健福祉局
12	高齢者筋力トレーニング普及推進ボランティア養成講座	10,291	10,291	良い	保健福祉局
13	高齢者筋力トレーニング普及推進事業	31,433	36,593	普通	保健福祉局
14	地域献血会事業	18,252	18,152	良い	保健福祉局
15	家族介護者向け医療的ケア・口腔ケアの実践研修事業	3,739	4,404	良い	保健福祉局
16	熱中症予防啓発事業	13,357	13,720	普通	保健福祉局
17	栄養改善事業	54,105	54,135	良い	保健福祉局
18	健康診査事業	52,499	53,135	良い	保健福祉局
19	介護予防普及推進事業	15,992	16,066	普通	保健福祉局
20	食育推進事業	55,169	59,899	良い	保健福祉局
21	食育指導員養成事業	21,720	28,081	普通	保健福祉局
22	お口の健康サポート事業	37,944	52,360	普通	保健福祉局
23	医師会・歯科医師会健康づくり事業補助金	17,921	17,933	かなり良い	保健福祉局
24	生涯を通じた歯の健康づくり	47,068	48,244	良い	保健福祉局
25	お風呂屋さん再発見事業	6,890	7,249	良い	保健福祉局
26	鉦泉源保護設備補修等補助金交付事業	16,895	18,502	かなり悪い	保健福祉局
27	環境衛生対策補助金	15,179	15,179	普通	保健福祉局
28	京都市ラクト健康・文化館	16,506	16,938	—	建設局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●生活習慣病予防をはじめとする健康づくりの推進に当たっては、今後とも引き続き市民意識の向上を図り、無理せず楽しく継続できる仕組みを目指し、運動等の分野における行動指針の策定など、市民の健康増進や生活の質の向上を図る。

施策名	1701	市民の健康づくり活動の推進
-----	------	---------------

指標名	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合 (%)
-----	--

担当課	保健医療課	連絡先	222-3419
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

特定健診において、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合

2 指標の意味

生活習慣の改善による健康づくりの成果を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していると回答した市民の割合
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	46.8	52.8	6ポイント増	48.8	中長期目標を達成するために当該年度達成すべき数値	108.2%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		52.8	29年度	100.0%	京都市民健康づくりプラン(第2次)に掲げる目標

備考	京都市民健康づくりプラン(第2次)に基づく指標に変更。データ公表時期の関係から、平成25年度数値が最新値となる。
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a: 90%以上
b: 85%以上～90%未満
c: 80%以上～85%未満
d: 75%以上～80%未満
e: 75%未満

6 基準説明

当該指標については、市民一人ひとりの健康づくりの取組による影響が大きいことから、目標達成度90%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。(24年度47.8%、25年度48.8%、26年度49.8%、27年度50.8%、28年度51.8%)

7 評価結果

25	26	27
-	-	a

指標名	自殺による死亡者数 (人)
-----	---------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

当該年度京都市における自殺による死亡者数

2 指標の意味

市民のこころの健康状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市における年間自殺者数(1月～12月の年間統計値)
出典：厚生労働省人口動態統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	252	248	4人減	264	平成28年度に240人以下とするために当該年度達成すべき数値	106.1%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		240以下	28年度	96.7%	京都市自殺総合対策推進計画

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値が、
a: 目標値以下
前回数値と比較して
b: 10人以上の減少
c: 変わらず(±10人未満の増減)
d: 10人以上20人未満の増加
e: 20人以上の増加

6 基準説明

当該指標については、様々な社会的要因による影響が大きいため、目標値以下をaとし、以下、前年度との比較で10人刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
a	a	a